

報道関係者 各位

令和5年8月15日

協会けんぽ  
データで  
多角的に分析睡眠で休養が取れていない業種、  
メンタル系疾患の方が多い業種について  
～ その6：業種別の状況、2024年問題に向けて ～

健康経営の取組課題としてのメンタルヘルス対策に関する事業所実態調査

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

- 協会けんぽ広島支部では、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、健康の保持・増進につながる取組みを戦略的に実践する「**健康経営**」を推進しています。
- 健康経営の取組課題として、心の健康を崩すことが原因で長期欠勤や労働生産性の低下を招くことも多く、「**メンタルヘルス対策**」は企業にとって重要課題になっています。
- 今回、メンタルヘルスの状況について、広島支部加入者の健診データ・レセプトデータ・傷病手当金受給データ及び事業所アンケートを活用し、多角的に分析しました。その得られた内容について、複数回に分けて、情報提供をします。

## 《事業所実態調査の結果概要》

● 今回の分析において、健診の問診票から「睡眠で休養が取れていない業種」、レセプトデータから「メンタル系疾患の方が多い業種」は以下のとおりでした。

睡眠で休養が取れていない業種	メンタル系疾患の方が多い業種
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路貨物運送業</li> <li>● 機械器具製造業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会福祉・介護事業</li> <li>● 医療業・保健衛生</li> </ul>

特に「**運送業**」「**医療業界**」「**建設業**」においては、働き方改革による**2024年問題**が取り上げられている業界です（**2024年問題**とは、時間外労働時間が年960時間に制限されることで生じる諸問題）

● 協会けんぽ広島支部としては 当該結果を受け、2024年問題による企業の人材定着に向けて、従業員が長く働き続けられる職場環境づくりや社員の健康づくりのため、「**健康経営**」の普及に尽力していきます。

- 本業務はニッセイ情報テクノロジー株式会社、株式会社こどもみらい・東京医科大学精神 医学分野 睡眠健康研究ユニット・産業精神医学支援プロジェクト 志村 哲祥 兼任准教授と協働実施しました。



今回の分析の詳細については、**広島支部ホームページ**に掲載しています

## 【協会けんぽについて】

中小企業等（約256万社）で働く従業員やそのご家族（約3,944万人）が加入している日本最大の医療保険を運営する公法人です。

- ・ 加入事業所数（広島支部）： 58,546事業所（令和5年3月時点）
- ・ 加入者数（同上）： 1,044,575人（令和5年3月時点）

## &lt;本件に関するお問い合わせ&gt;

全国健康保険協会広島支部  
企画総務グループ  
担当：尾田・柏矢  
Tel.082-568-1014

協会けんぽ 広島支部  
マスコットキャラクター  
健康 いろは協会けんぽ 広島支部  
マスコットキャラクター  
健康 かえで

## 3段階の階層化

レセプトデータが保有する病名、健診データが保有する問診票（生活習慣の状況）等を多角的に分析し、労働生産性の低下に影響の大きい生活習慣の傾向、メンタル系疾患の状況を**被保険者の人数ベース**で、業種別・事業所別等のカテゴリ別でその傾向を把握し、健康経営の普及・メンタルヘルス対策に対するターゲット層及び事業展開を検討する。

階層	名称	データ	データの条件（定義）
ステージⅠ	メンタル不調予備群 [問診票]	健診問診票 データ	生活習慣病予防健診（対象者：被保険者35歳以上）を受診し、問診票にて「睡眠で休養が取れていない」と回答された方かつ、以下のいずれか※の回答をされた方の <b>人数</b> ※「歩行または身体活動」「歩行速度」「体重変化」「食べ方（就寝前）」「食習慣（朝食抜き）」の状況（ステージⅡ及びステージⅢに該当する方は除く）
ステージⅡ	メンタル系疾患 [医療機関受診]	レセプト データ	レセプトデータのICD-10コード「F0x～F9x」（精神および行動の障害）に該当する方の <b>人数</b> （ただし、ステージⅢに該当する方を除く）
ステージⅢ	メンタル系疾患 [傷病手当金受給者]	傷病手当金 支給決定データ	メンタル系疾患の傷病で、傷病手当金を受給されている方の <b>人数</b>

関連があるかどうか

課題① 睡眠＋生活習慣の状況

課題② メンタル系疾患の発症

### 【参考】ステージⅠ：メンタル不調予備群のデータ定義について

※年度末時点で在籍している被保険者数  
（年度途中の資格喪失者は除いている）  
※任意継続被保険者は除いている

本業務はニッセイ情報テクノロジー株式会社、株式会社こどもみらい・東京医科大学精神医学分野 睡眠健康研究ユニット・産業精神医学支援プロジェクト 志村 哲祥 兼任准教授と協働実施。

株式会社こどもみらい・東京医科大学睡眠健康研究ユニットにて実施した「プレゼンティズムと健康診断の関係」の研究成果をもとに、**労働生産性の低下に影響の大きい生活習慣**について、一般的に言われる「**睡眠休養の有無**」のほか、**有意な項目**である「**歩行または身体活動**」「**歩行速度**」「**体重変化**」「**食べ方（就寝前）**」「**食習慣（朝食抜き）**」の状況から、ステージⅠ「メンタル不調予備群」心身の不調者として該当者を定義しました。

## 各種データの定義について

《被保険者》

●年度末時点で在籍している被保険者数（年度途中の資格喪失者は除いている）

※ただし、資格喪失者を対象としたデータについては、対象年度中に健康保険を資格喪失した被保険者

※任意継続被保険者は除いている

《事業所》

●被保険者データが存在する事業所のうち、年度末の被保険者数が0人より多い事業所

《生活習慣病予防健診受診者数》

●年度末時点で在籍している生活習慣病予防健診（対象者：被保険者35歳以上）の受診者数  
（年度途中の資格喪失者は除いている）

《ステージⅠ：メンタル不調予備群 [問診票]》 （注意）**対象者は35歳以上の被保険者**

●生活習慣病予防健診（対象者：被保険者35歳以上）を受診し、

問診票にて「睡眠で休養が取れていないと回答された方」かつ以下のいずれかの回答をされた方の人数。

「朝食を抜くことが週に3回以上ある」、「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある」、

「20歳から10Kg以上体重が増加している」、

「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していない」、

「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が遅い」

（ただし、ステージⅡ及びステージⅢに該当する方は除く）

《ステージⅡ：メンタル系疾患 [医療機関受診]》

●レセプトデータのICD-10コード「F0x～F9x」（精神および行動の障害）に該当する方の人数

（ただし、ステージⅢに該当する方を除く）

《ステージⅢ：メンタル系疾患 [傷病手当金受給者]》

●メンタル系疾患の傷病で、傷病手当金を受給している方の人数

《ステージごとの該当者割合》

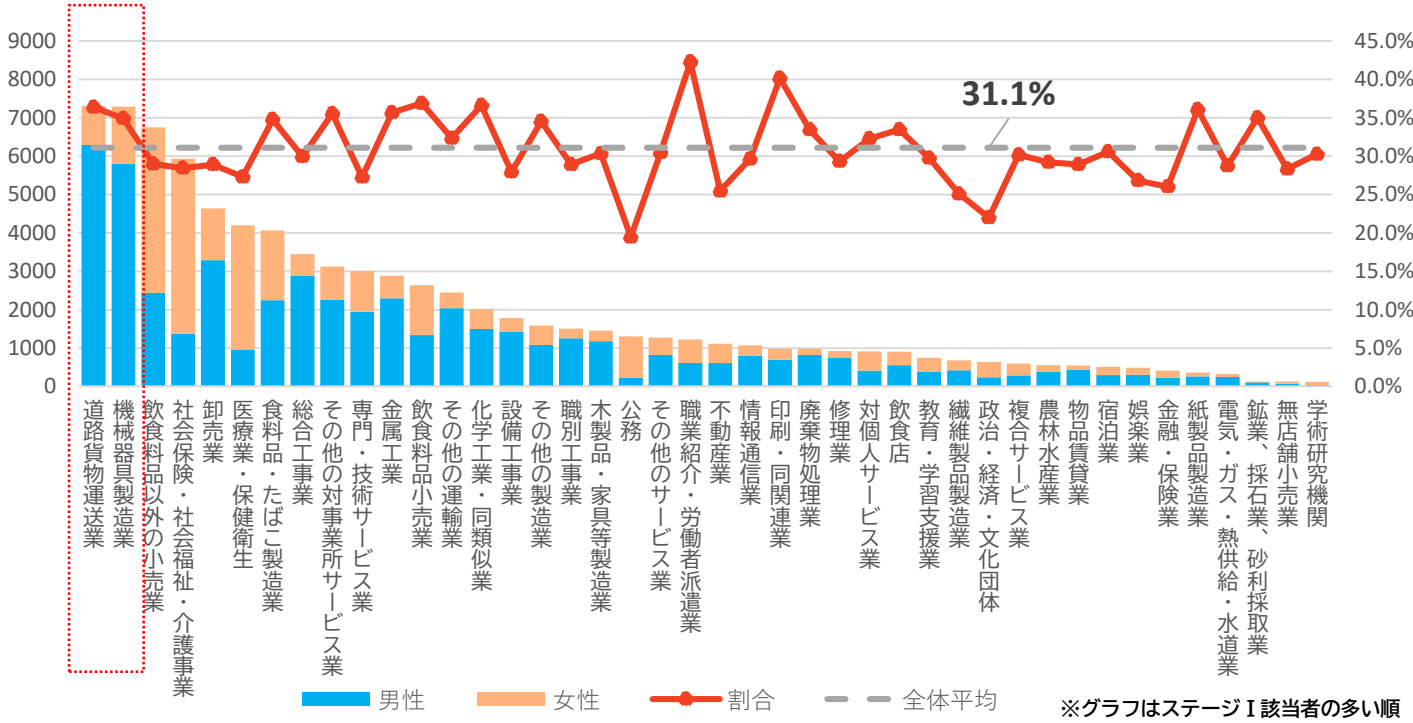
●各ステージの該当者数 ÷ 被保険者数

《平均との差に対する影響度》

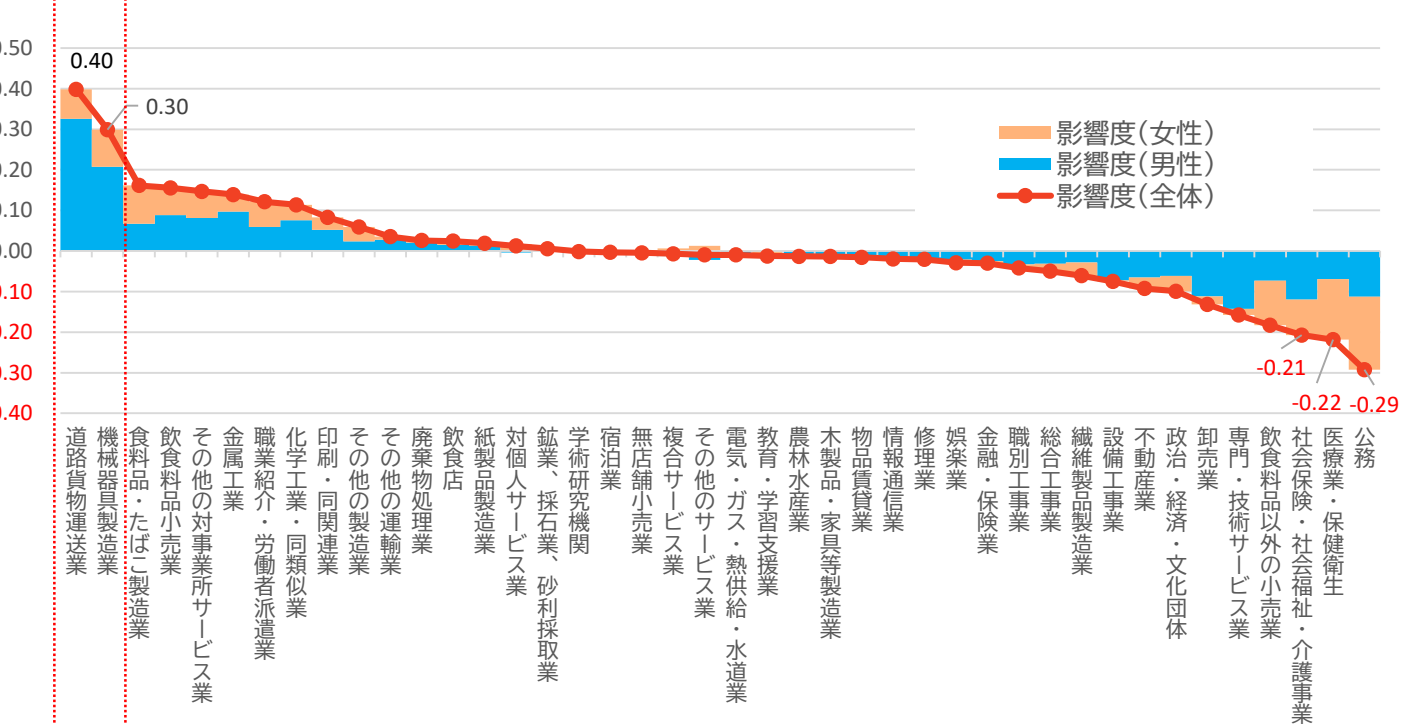
●（当該項目の割合 - 広島支部平均の割合）×当該項目の構成割合 ÷ 100

階層	結果 (令和3年度)
ステージ I : メンタル不調予備群 [問診票]	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和3年度生活習慣病予防健診受診者 (266,949人) のうち、ステージ I : メンタル不調予備群の状況をみると、該当者が多い業種は、「道路貨物運送業」「機械器具製造業」である。</li> <li>● 生活習慣病予防健診受診者あたりのステージ I : メンタル不調予備群の割合の高い業種は、「職業紹介・労働者派遣業」「印刷・同関連業」である。</li> </ul>

【業種別】ステージ I : メンタル不調予備群の該当者数と割合

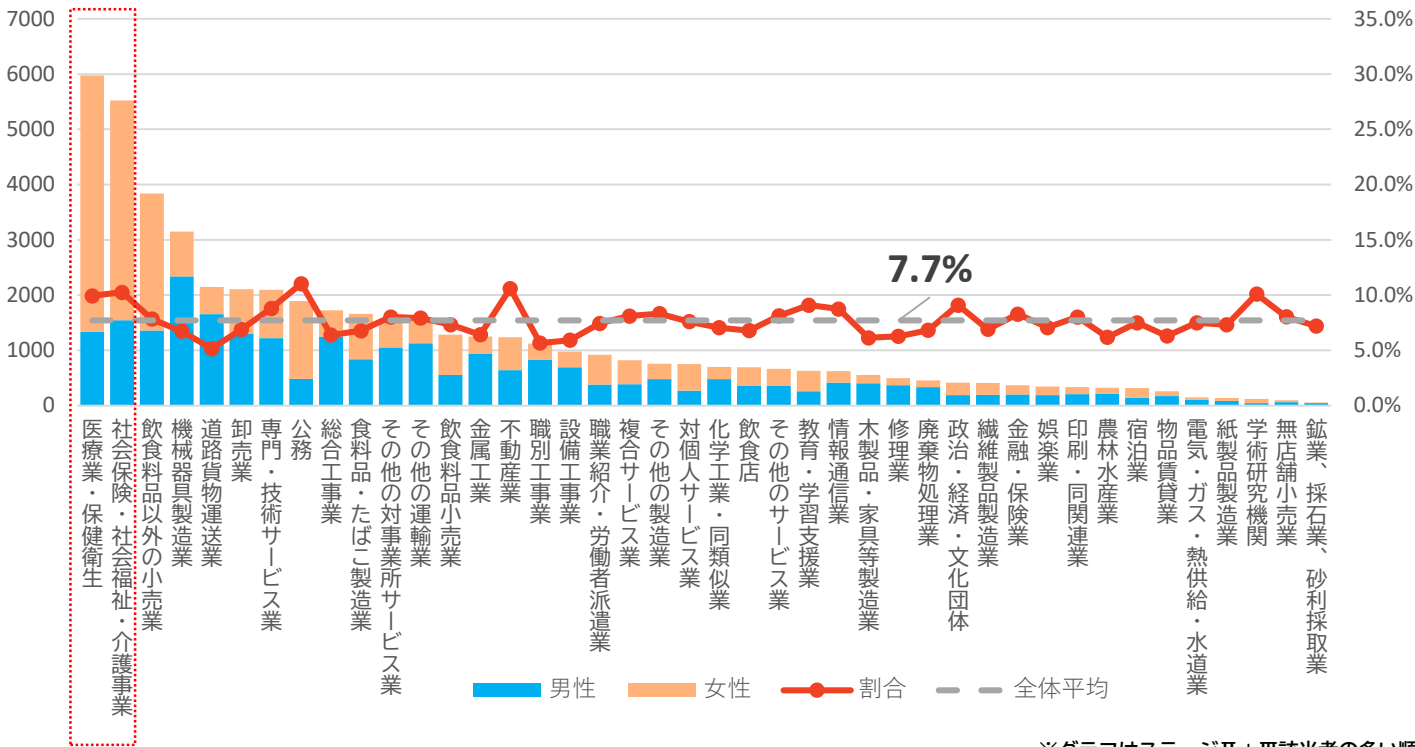


【業種別】ステージ I : メンタル不調予備群の平均との差に対する影響度



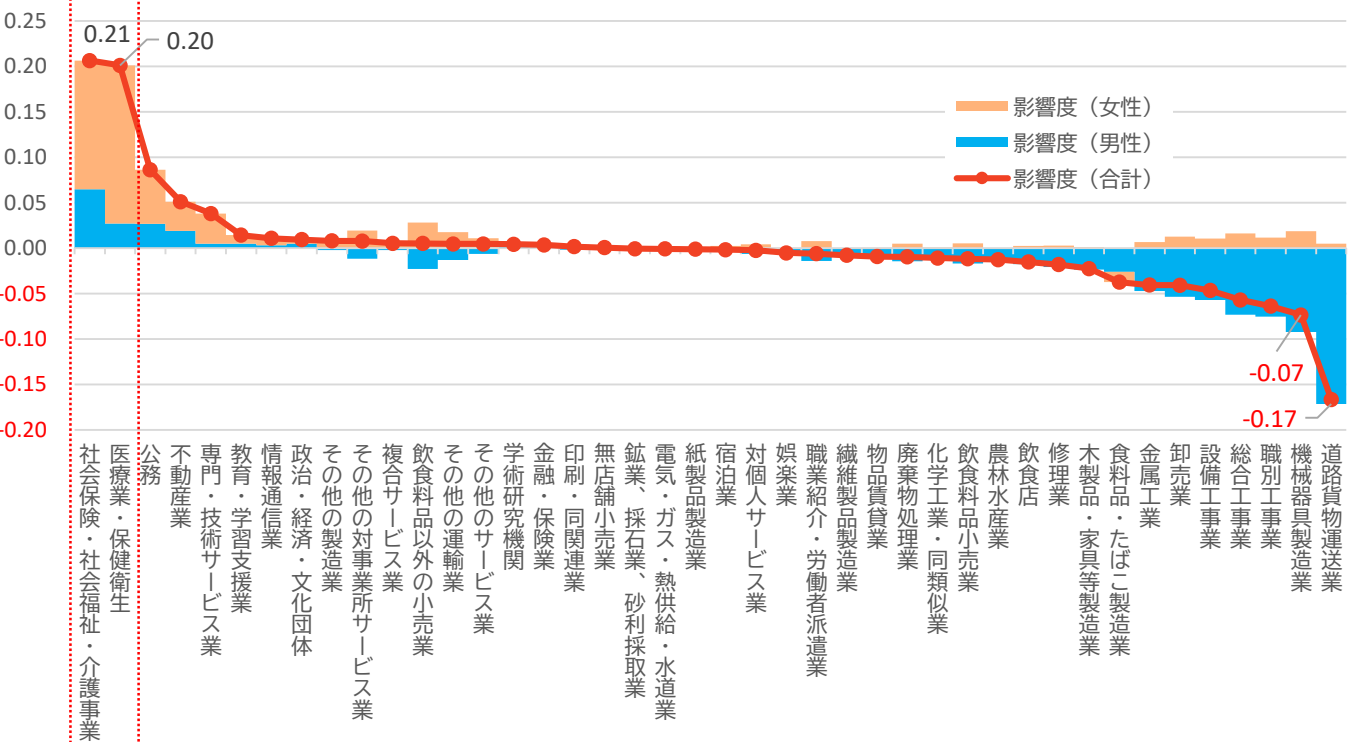
階層	結果（令和3年度）
ステージⅡ + Ⅲ： メンタル系疾患 【医療機関受診】 【傷病手当金受給者】	<p>● 令和3年度被保険者（650,727人）のうち、業種別におけるステージⅡ：メンタル系疾患【医療機関受診】とステージⅢ：メンタル系疾患【傷病手当金受給者】を合わせた状況を見ると、該当者が多い業種は、「医療業・保健衛生」「社会保険・社会福祉・介護事業」である。</p> <p>● 該当者の割合については「公務」「不動産業」において高い。</p>

【業種別】ステージⅡ + Ⅲ：メンタル系疾患の該当者数と割合



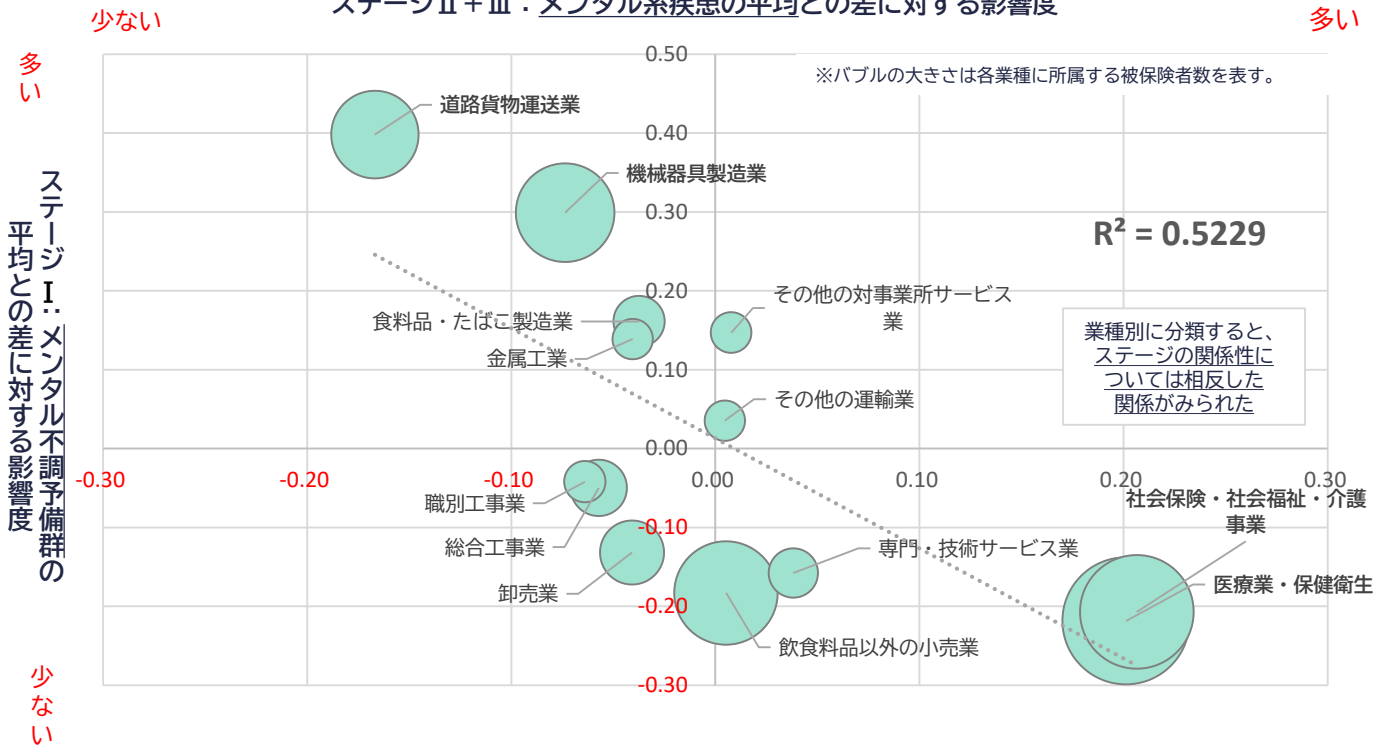
※グラフはステージⅡ + Ⅲ該当者の多い順

【業種別】ステージⅡ + Ⅲ：メンタル系疾患の平均との差に対する影響度



階層	結果（令和3年度）
業種別 ステージⅠと ステージⅡ+Ⅲの 関係性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●被保険者数が多い業種について、ステージⅠ：メンタル不調予備群、ステージⅡ+Ⅲ：メンタル系疾患〔医療機関受診〕〔傷病手当金受給者〕の平均との差に対する影響度を業種別に示したものの。</li> <li>●「道路貨物運送業」「機械器具製造業」は、ステージⅠ該当者が多く、ステージⅡ+Ⅲ該当者が少ない。一方で「医療業・保健衛生」「社会保険・社会福祉・介護事業」は、ステージⅠ該当者が少なく、ステージⅡ+Ⅲ該当者が多い。</li> </ul>

ステージⅡ+Ⅲ：メンタル系疾患の平均との差に対する影響度



ステージⅡ+Ⅲ：メンタル系疾患の平均との差に対する影響度

